



No.46 2020.4.21

明石市コミュニティ・スクールだより
人をつなぎ 未来をつなぐ 明石のコミュニティ・スクール

コミコミスクスク

KOMIKOMISUKUSUKU

明石市教育委員会事務局学校教育課

こんな時の学校ホームページの役割は？

とどけよう 子どもたちへ 保護者の方へ 地域の方へ 学校からのメッセージ その2

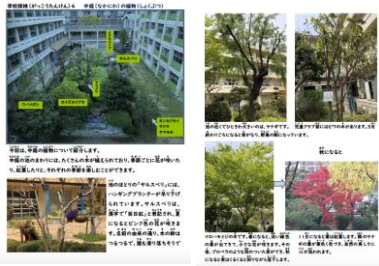
新型コロナウイルス感染症の感染拡大がまだまだ続いています。そんな中、子どもたちの学びを止めない取組が様々な形で進んでいます。市内の小・中学校のホームページにも、様々な学習支援サイトのバーナーが張られています。また、各校で工夫し用意された学習プリントなどもダウンロードできるようになってきています。そして少しずつ学校からの連絡だけでなく、先生たちの声がホームページにUpされるようになってきました。学校の様子を日記的に紹介したり、先生からのメッセージをリレー形式でつないでいこうという学校も出てきています。各校の工夫を各校が取り入れながら進化させ、双方向の流れが生み出されたいと思います。

紹介その1) 学校探検

松が丘小のホームページには学校ニュースという欄があり、そこを利用し学校探検や先生方のメッセージリレーを始めています。



学校探検(4/21)



学校ニュースのページから学校探検へリンクが張られ、学校探検が始まります。新1年生が「これはどこにあるのかな？見てみたいな」と思ってくれ、そして、学校再開になったらこのプリントを手に学校の中を探検し、本物を見て触ってくれたらいいと思います。そんな日を夢見て、頑張ってください。コミスク的にいえば地域の方にもみてもらえたらいいなと。

紹介その2) 探究学習の呼びかけ

おうちで学ぼう1



おうちで学ぼう2



おうちで学ぼう3



錦城中学校にホームページには「校長室の窓」というページがあり、これまでも校長先生からのお便りが頻繁にアップされていました。そこに新しく「おうちで学ぼう」というこれからの新しい時代の学びの柱となる「探求」を子どもたちに呼びかけるコラムをスタートさせています。

⇒おうちで学ぼう1(慣用句や比喩表現)

▼4月18日(土)神戸新聞朝刊一面の「正平調」を読んでいると、本文中に慣用句や比喩表現が今日は多いと感じました。気になるところを抜きだしてみると次のようになります。

1 倍々ゲーム 2 唐突な感じは否めない 3 切羽詰まる 4 我慢の季節 5 打つべき手 6 一丸となって 7 欲しがりません勝つまでは
8 すべてが窮する 9 歴史は知っている 10 現金給付を巡る迷走 11 世間のいらだち 12 山ほどある

▼担当者さんも読者を意識してか、様々な表現で伝えたいことに色づけしています。「あっ、これ聞いたことある。見たことある」と思わせて文章の中に引き込もうとしているのかな。撒きえのようにおびき寄せられている？目が釘付けになる？新聞、ニュース、雑誌など皆さんがふだん目にする文章の中からこのような慣用句や気になる表現を抜き出して、由来や意味を調べてみてはどうでしょうか？文章の理解も深まり、ことばの学習にもなりますね。

⇒おうちで学ぼう2(その日の出来事)

▼新聞記事には読者からの様々な投稿が掲載されています。4月18日(土)の神戸新聞には写真のような投稿が掲載されていました。

おねえちゃんのとっさの判断、菜の花を黄色の横断旗と見立てたところ、2人のお辞儀などなど、わずか400字に満たない文章の中で、身近な出来事のある瞬間を切り取った内容は、素晴らしいと思いませんか。

▼投稿で感じたこと、思ったことを書き留めてみる、毎日の出来事を日記にしてみる、100字で書いてみる、俳句や短歌で表現してみるのもいいかもしれませんね。ちょっとした工夫で日常に豊かな色がついて、創造的(想像的)な部分の頭が心が動き出します。

⇒おうちで学ぼう3(見出しの言葉)

▼写真が掲載された記事にはインパクトがあります。小学校の国語科で「アップとルーズ」という教材があります。伝えたい内容に添付するのはアップにした写真がいいのか、それとも遠くからの視点でとらえたルーズな写真がいいのか。今日の写真は4月20日(月)の神戸新聞朝刊一面の記事です。週末を迎えた18日(土)の淡路SAの様子。写真下の空欄には見出しの文字が入っていました。写真に添える見出しの文字も大切ですね。みなさん考えてみよう。実際には、本文中の文字を使って表現されていたのですが、それにとられることなく考えてもいいですね。

校長先生は似顔絵で子どもたちにこのような呼びかけをされています。

■臨時休校中の生徒の皆さんの学びを支援し、交流するためのものです。

家庭学習の時間のすきまを見つけて、余裕があれば取り組んでみて下さい。

1 臨時休校中、「おうちで学ぼう」のテーマ(課題のようなもの)

に沿って学んだこと、調べたことを発表して、交流しよう。

2 下に調べたことを書いて、あるいは貼って、錦城中にFAXで

送ってください。※中学校の校門横のポストへ入れてもよいです。

3 発表に対しての意見や感想もお聞かせください。

4 HP上に公開してもよい場合は、できるだけ公開します。(個人名は伏せておきます)



これまでの「読み・書き・計算」中心の一方通行的な課題から、双方向の交流がある学びが始まろうとしています。子どもたちが探究したことを回収し、発表・意見交換の場づくりです。学年や教科から課題がでて、子どもが自分の関心で選択できるような学びの場ができればいいなと思

います。オンラインではなくFAX・ポストで回収(熊本市では子どものげた箱を活用)というアナログ的な方法で双方向のやりとりへのチャレンジです。また、コミュニティ・スクールの取組として回収ポストを校区内の何か所かに置かせてもらってもいいのではと思います。買い物のついでに回収箱へ。また、学校の取組を知ってもらい、子どもたちの探究に保護者や地域の方にも興味を持っていただき、感想等を返してもらえたら、子どもたちの学びをより深めていくことにつながっていくと考えます。今は新たな学びをつくっていくチャンスだと思います。こんな状況だからこそ、熟議を！

紹介その3) 離任式はできなかったけれど

ホームページを見ていて、はっとしたのがこの前紹介させていただいた。二見小学校のホームページでした。

二見小学校のホームページには、この春に離任された先生方のメッセージが届いていました。

「おうちで過ごしている二見っ子たちへ 離任式1」となっているので、随時離任された方からのメッセージがUpされるのではと思います。離任式はできな



次は、なかよしの 中前先生です。

☆二見っ子のみなさん、元気に過ごしていますか？中前先生は、元気になっています。先生は、4月 から二見北小学校に行くことになりました。離任式がなくなり、みなさんの顔を見てお別れができなくてとてもさみしいです。先生は、10年間 二見小学校でお仕事をしました。10年間でたくさんの 子ども達と出会い、一緒に過ごしたので、思い出がいっぱいです。一緒に勉強したこと、遊んだこと、がんばったこと… 毎日とても楽しかったです。みんなの成長を近くで見ることができて、先生は幸せだったなあと 思います。みんなが 大好きで、かわいくて、今も二見っ子の顔が思うかんて、会いたいなあと 思っています。先生は、二見北小学校に行くことになりましたが、すぐとなりの 小学校です。また会えると思うので、その時を楽しみにしていますね♪ さあ、新しい学年になり、新しいスタートです。小さなことでもいいので、目標をもつてがんばってくださいね。先生もがんばります。ずーっと 応援しています！ 今まで、ありがとう。さようなら(^^)/---

かったけれど、きっと子どもたちからも返事のメッセージがとどくのではと思います。

やっぱり人の言葉はあたたかみがありますよね。

2020年4月20日(月)
おうちで過ごしている二見っ子たちへ〜その6・離任式1〜
更新日:2020/04/20 15時28分



☆本日は先週の14日が離任式でした。今年、ほかの 学校へ行かれた先生とお別れする日でした。しかし、この 休校で中止になってしまいました。そこで、 顔を見てお話を聞くことはできませんが、 二見っ子にお別れのメッセージをいただきました。この ホームページ上 で離任式〜その1〜です！ 最初は中原先生です。

☆5年間、二見小学校でお世話になった、中原です。この 春から 高丘西小学校に異動し、5年生を担当することになりました。

二見っ子のみなさん、元気に過ごしています？先生は二見小学校で働いていた時と同じように 元気もりもりです！

転勤して改めて思うことがあります。

二見小学校はとっても 素敵な学校です。

二見っ子は素直で元気。

地域全体はあたたかい。

海が近く、景色が良い。

色んな良さを感じます。

先生は二見小学校が楽しく、教室の窓を開けて二見方面の海をぼんやり 眺めることがあります。

二見っ子、地域の人たちには「ありがとう」という 感謝の気持ちしかありません。

幸せな5年間を過ごすことができました。

さて、現在は新型コロナウイルスの影響で長い休校期間となっています。

先生は休校明け、休校だった 分以上に頑張ろう と思っています。

みんなもそうであってほしい。いつも 以上に元気を爆発させてほしい。

今のピンチを 越えれば、必ずチャンスがやってくる。

そう信じて、今を過ごしましょう。

これからも 素敵な二見小学校であり続ける ことを 楽しみにしています。

また会いましょう！

アイデアを出し合っていきましょう

各校のホームページをみていると、ページがリニューアルされたり、発信の内容を工夫したりとホームページが動き始めたという印象を受けます。お知らせの手段としてのホームページから学びを深めていくツールとしてのホームページへ変身しつつあるのではと思います。

こんな時だからこそアイデアを交流しながら、元気がでるホームページに！

そこで、「休校が長引く中で、三食を考えるのが大変なお母さんのために情報コーナーとして簡単メニューのレシピを募集し、みんなで一週間の献立表を作って公開」というのはいかがでしょうか。そこまでという意見もあるかと思いますが、こんなところからも発想を変えていく必要があるのではと思います。

ある方からこんな話を聞きました。

「学校からの課題はあっという間に終わる。それで提出は学校再開後。再開っていつ？ホームページで学習サイトの紹介はしているけど、どれがいいかわからない。保護者判断？」

この思いって特別なことではないでと思います。ニーズを探ってみるのも必要では？それが社会に開かれた教育課程をつくることにつながるのでは。

(文責:北本)